

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [多摩市立東愛宕中学校] 担当教諭名 [竹内 美弥] (美術部 20名)

相手国・地域 [アゼルバイジャン]

海外学校名 [Baku European Lyceum] 担当教諭名 [Nabat Khalafova / Rahila Aliyazade]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動(美術部)	国際交流	20

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	平和の中で生きる
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	COVID-19 による感染の広がりにより学校や世界で起きていることや、今まで見えなかったもので表に出てきている問題について。大切にしたい国土の姿、人間同士のつながりや学校、平和の中で生きていくことへの願い。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
作品が完成した時点でまとめる予定である。	美術を通して海外の国の子どもや社会の情報を校内の生徒や保護者、地域へ積極的に伝えていくことはあらためて課題としたい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
作品が完成した時点でまとめる予定である。	交流校の活動を知り、日本の教育の現状を再認識した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	8月	各自が用紙にイラスト入りの自己紹介カードを作成し、写真と一緒に送信	特に初めて参加する生徒、新入生は新鮮な気持ちで描いていた。	部活動 2
共有 テーマ学習	9月 ～ 11月	SDGs の導入になる資料と映像による学習 COVID-19 に関して自分たちの感じることを交流 観点ごとにグループ学習	フォーラムに送られてきたメールは生徒に見せて相手校のテーマ学習からも学び壁画の構想ができていった。	部活動 6
融合 メッセージ作成	12月	両校で初めて出していたテーマからイメージを形にする	描くもの、色彩などをどうするか話し合う場面が多くなった。	部活動 4
創造 壁画制作	2月 3月	制作中	協力して制作に取り組んでいる。	部活動 8
評価 振り返り 自己評価	6月	未定	未定	部活動 (予定)

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	3	異文化については様々な資料で考える機会を持ったので、子どもの感想や発言から感じた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	資料を提供して話し合うと社会問題への関心は高いことが分かる。COVID-19感染の中で敏感に感じる問題が多かったと思う。
主体的に考え行動する力	3	上の2項目の活動を通してついた力もあると思うが、どちらとも言えない。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	フォーラムで送信されてきた言葉や絵に応じて様々な思いを持つことができていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	最終的に下絵に採用しなかったものも含めて、テーマ学習するたびにスケッチを積み重ねていた。